

コラム 「吹雪の視界情報」「冬期道路気象予測システム」の外部への紹介



図-1 吹雪の視界情報ポスター



写真-1 サイエンスカフェでの説明



写真-2 北見市防災講演会

積雪寒冷地の冬期道路では、吹雪に伴う視程障害がしばしば発生します。近年、急激に発達した低気圧による暴風雪災害が発生しており、吹雪対策施設だけでは対応が困難なことも考えられます。寒地土木研究所雪氷チームでは、道路管理者や防災関係者、一般の道路利用者への情報提供によって、吹雪時の安全な行動判断を支援しています。

25年度は、平成25年3月の暴風雪で多くの被害が発生した道東地方において、北海道開発局と北海道、市町村の防災関係者が参加する網走地方道路防災連絡協議会で「吹雪の視界情報」(図-1)や「冬期道路気象予測システム(吹雪視程情報)」の活用を進めたほか、暴風雪災害の防止に向けた講演会(図-2)を実施しました。

また、第8回札幌管区気象台サイエンスカフェ「暴風雪を知る」(写真-1)や、北海道庁主催の北海道雪害対策連絡部

会議、防災シボジウム in 中標津、雪氷研究大会(2013・北見)等(写真-2)、多くの場面で、専門家から一般市民までの幅広い層への普及に努めています。

図-2 講演会案内ポスター